

政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり

施策 01 健康づくりの推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
みんなが健康で元気に生活しています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	健康だと思ふ市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		【健康課】	88.2	-	87.5	92
評価	(状況) 後期基準値に比べ、現状値が0.7ポイント減少した。 (原因) コロナ禍により外出頻度が減り、運動機会が減ったり生活様式が変化したことが要因である。					対前年度
		☔ (低下)	目 標 達成度	(---)		

指標	平均自立期間 (男性) (歳)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		【健康課】	81.2	81.8	81.5	81.7
評価	基準値より0.3ポイント上回っている。 (参考) 愛知県: 80.4 全国: 79.9					対前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達成度	(---)		

指標	平均自立期間 (女性) (歳)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		【健康課】	84.1	84.9	85.5	84.6
評価	基準値より1.4ポイント上昇し、後期目標値に達している。 (参考) 愛知県: 84.4、全国: 84.2					対前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	🏰 (達成)		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 健康増進事業の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	元気まる測定（あたま・からだ）年間参加者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	1,588	963	810	1,900	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績に比べ、現状値が159人減少した。 (原因) 感染症対策で定員を減らしたり、地域の集まりに向 く出前講座の実施回数が減少したことが要因である。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業01 健康増進事業の推進

指標	健康増進に取り組む平均実践項目数（全7項目中）（項目）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	2.95	-	2.95	3.5	☁ (横ばい)
評価	(状況) 後期基準値に比べ、現状値が同じであった。 (原因) 健康増進に取り組んでいる人の割合に特に変化がない ため。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 健康相談・保健指導の充実

指標	健康相談対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	保健師、歯科衛生士、管理栄養士等の専門職を配置し、電話・ 面接による健康相談への対応ができる体制を整えており、相談 対応率は100%を維持している。新型コロナウイルス感染症の影響 を受け、対面である面接や訪問相談が減少している。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 健康相談・保健指導の充実

指標	(参考：相談件数) (件)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	7,840	6,232	5,738	9,000	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績に比べ、現状値が494件減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面が必要 な面接や訪問相談件数が減少している。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 健康相談・保健指導の充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	保健事業への参加者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	12,345	8,835	7,487	13,000	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が1348人減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ほとんどの事業の参加者数が減少している。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 早期発見・予防の充実

指標	定期的に健康診断（市・民間）を受けている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	82.0	-	82.3	83	☀ (向上)
評価	(状況) 後期基準値に比べ、0.3ポイント増加した。 (原因) 広報誌やちらし等を活用し、健康診断の必要性等を周知しているため。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 早期発見・予防の充実

指標	乳幼児・児童生徒の定期予防接種の接種率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	102.5	102.1	91.9	95	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度実績値に比べ、10.2ポイント低下した。 (原因) 日本脳炎ワクチンの全国的な供給不足により、対象となるものの内、一部の者しか接種ができなかったことが要因である。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 母子保健の充実

指標	乳幼児健康診査受診率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	97.2	98.2	96.5	97	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度から1.7ポイント低下した。 (原因) 各健診ことでの受診率も一律低下している。コロナの感染状況により、集団健診への参加を躊躇する家庭や保護者の就労等により受診が難しい家庭が一定数いることが要因である。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 母子保健の充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	乳幼児の健康状態が把握できている割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	99.2	99.3	99.3	99.5	(横ばい)
評価	(状況) 昨年度と比較し横ばいである (原因) 未受診者の実数は増加したが、未受診者の追跡は基準に沿って行い、把握に努めたことから実績値に変動はなかった。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 母子保健の充実

指標	母子保健サービスに対する満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	79.6	-	82.2	80	(向上)
評価	(状況) 後期基準値に比べ、2.6ポイント増加した。 (原因) 利用者支援事業等の母子保健サービスの充実を図ったことが要因と考えられる。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						(達成)

基本事業05 市民参加による健康づくりの推進

指標	健康づくりに参加しているボランティアの実人数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	123	132	61	150	(低下)
評価	(状況) 昨年度の実績値に比べ、現状値が71人減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各種事業の内容や実施方法を変更し行ったため、ボランティアの活動の機会が減少したことが要因である。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達 成 度
						(---)